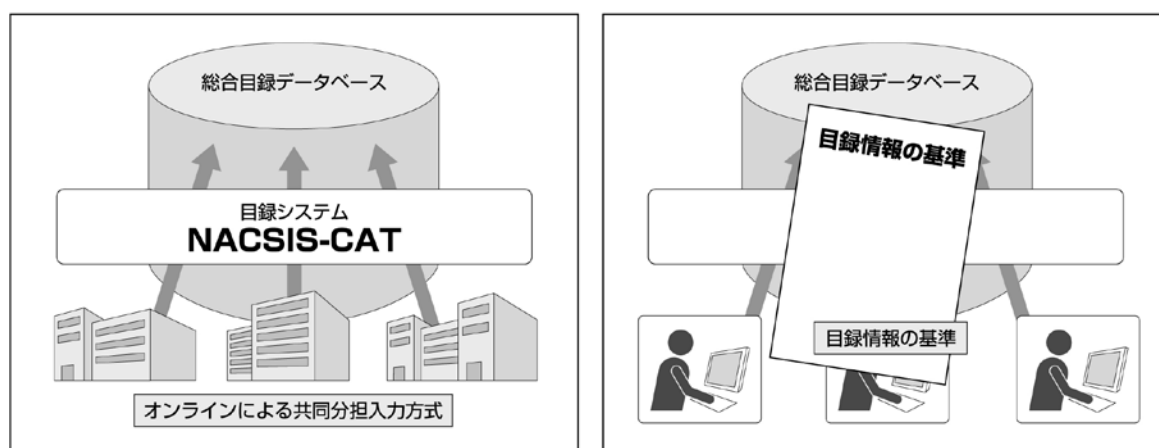


1. 総論

1.1 「目録情報の基準」の目的

目録システムにおいてレコードを共有するためには、参加館間で共通の理解が重要となる。

- ・データベースの構造やデータベース作成のための原則や考え方を示す
- ・データの品質の標準化



1.2 総合目録データベースのレコード特性

データ種別	レコード	特性
共有データ	雑誌レコード 典拠レコード	・重複登録不可 ・修正指針に基づいて修正可能* －出版途中での出版者等の変更, 内容の充実, 終刊情報の追加, データ誤りの訂正 ・削除は不可
各参加組織 固有のデータ	所蔵レコード	・修正・削除は, 各参加組織が行う

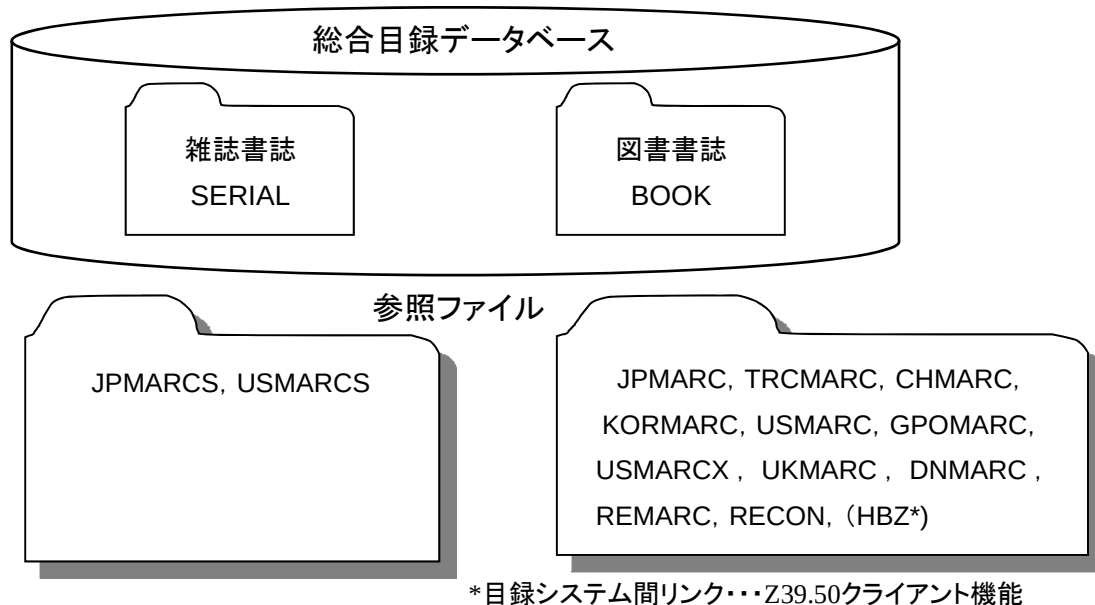
*…「目録システムコーディングマニュアル」参照

雑誌書誌レコード → 「第23章 雑誌書誌レコード修正」

著者名典拠レコード → 「第25章 著者名典拠レコード(日本名)修正」

2. 雑誌書誌レコード

2.1 書誌ファイルの構成



2.2 図書と雑誌

区分の原則は、資料の刊行方式による。資料種別は問わない

- (1) 終期を予定せず逐次的に刊行され、かつ個々の出版物理単位を識別・順序付けする番号がある。

→雑誌ファイル

- (2) 上記以外

→図書ファイル

2.3 和資料と洋資料

- (1) 総合目録データベースでの扱い

総合目録データベースのファイル上は、和資料と洋資料の区別はない。ただし、準拠する目録規則が異なる。

- (2) 参照ファイルでの扱い

和資料と洋資料で参照するファイルが異なる。資料に応じ、適切なファイルを選択する必要がある。

※目録システム間リンク

国際標準である情報検索プロトコル Z39.50 を用いて、直接、海外の書誌ユーティリティへの検索利用を可能とする仕組み。

利用の際には、次の点に注意が必要となる。

- ・総合目録データベース、既存参照ファイルを検索した上で、なおもノーヒットの場合にのみ検索すること。
- ・NACSIS-CAT への登録作業以外の用途での検索は行わないこと。

2.4 雑誌書誌レコードのデータ内容

(1) 準拠する目録規則

タイトルの言語による（不適当な場合は、本文の言語）

タイトル	目録規則
日本語，中国語，韓国・朝鮮語	日本目録規則 1987 年版改訂 3 版 (NCR87R3)
上記以外	英米目録規則第 2 版，1988 年改訂，1993 年修正，2002 年改訂 (AACR2R)

(2) データ要素の区切り記号

ISBD（国際標準書誌記述）に準拠（一部相違するものあり） → 付録 2「データ記述文法（抜粋）」

データ要素の区切り記号は、システムがデータ要素を識別するためのしりしとなっている。

(3) 記述の精粗

目録規則における「記述の第 2 水準（第 2 レベル）」とする。

(4) 主なデータ内容

データの表示レイアウト，フィールド名の表記方法は，クライアント毎に異なる。次に示すフィールド名は，CATP 上での定義名である。→ 付録 1「画面構成とフィールド」

フィールド名	説明	フィールド名	説明
コードに関するフィールド		記述に関するフィールド	
ID	書誌レコード ID	(TR)	タイトル及び責任表示に関する事項
CRTDT	レコード作成日付	ED	版に関する事項
RNWDT	最終レコード更新日付	VLYR	巻次・年月次
GMD	一般資料種別コード	(PUB)	出版・頒布等に関する事項
SMD	特定資料種別コード	(PHYS)	形態に関する事項
(YEAR)	刊年	(VT)	その他のタイトル
CNTRY	出版国コード	NOTE	注記
TTLL	本タイトルの言語コード	PRICE	価格／入手条件
TXTL	本文の言語コード	IDENT	アクセス先に関する事項
ORGL	原本の言語コード	リンクに関するフィールド	
REPRO	複製コード	FID	変遷ファミリーID
PSTAT	出版状況コード	(BHNT)	変遷注記
FREQ	刊行頻度コード	(AL)	著者名リンク
REGL	定期性コード	主題に関するフィールド	
TYPE	逐次刊行物のタイプコード	(SH)	件名等
ISSN	国際標準逐次刊行物番号		
XISSN	取消／無効 ISSN		
NDLPN	NDL 雑誌番号		
LCCN	LC 管理番号 (LC カード番号)		
CODEN	CODEN		
ULPN	ULP 番号		
GPON	GPO 番号		

※ () 付のフィールドは、フィールド内がさらにいくつかのサブフィールドで構成されるグループフィールド

(5) データベース内での表現と画面表示

情報源（表紙）



画面表示（WebUIP）

<AN10099588> CRTDT:19891113 RNWDT:19950512
 GMD: SMD: YEAR:1984 1988 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
 REPRO: PSTAT:d REQ:a REGL:r TYPE:
 ISSN:00824720 CODEN: NDLPN: LCCN: ULPN: GPON:
 TR:林業試験場研究報告. 林産 / 林業試験場 [編]||リンギョウ シ
 ケンジョウ ケンキュウ ホウコク. リンサン
 VLYR:No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)
 PUB:荻崎町 (茨城県): 林業試験場, 1984.9-1988.3
 VT:BC:Bulletin of the Forestry and Forest Products Research
 Institute
 FID:10073500
 BHNT:CF:林業試験場研究報告 / 農林省林業試験場 <AN00252102>
 BHNT:CS:林業試験場研究報告. 林業・林産 / 森林総合研究所
 <AN10330632>
 AL:林業試験場||リンギョウ シケンジョウ <DA0383758X>
 SH:NDLSH:林業試験||リンギョウシケン//K

データベース内

ID = AN10099588

CRTDT = 19891113

RNWDT = 19950512

ISSN = 00824720

PSTAT = d

YEAR1 = 1984

YEAR2 = 1988

CNTRY = ja

REQ = a

REGL = r

TTLL = jpn

TXTL = jpn

TRD = 林業試験場研究報告. 林産 /
林業試験場 [編]TRR = リンギョウ シケンジョウ
ケンキュウ ホウコク. リンサン

VTK = BC

VTD = Bulletin of the Forestry and
Forest Products Research InstituteVLYR = No. 330 (1984.9)-no. 352
(1988.3)

PUBP = 荻崎町 (茨城県)

PUBL = 林業試験場

PUBDT = 1984.9-1988.3

FID = 10073500

BHBID = AN00252102

BHBID = AN10330632

BHK = CF

BHK = CS

BHTR = 林業試験場研究報告 / 農林省
林業試験場BHTR = 林業試験場研究報告. 林業・林
産 / 森林総合研究所

AID = DA0383758X

AHDNG = 林業試験場

AHDNGR = リンギョウ シケンジョウ

SHT=NDLSH

SHD=林業試験

SHR=リンギョウシケン

SHK=K

ISSNKEY = 00824720

YEARKEY= 1984

YEARKEY = 1988

AKEY = リンギシケホ

AKEY = 林試験

LANGKEY = jpn

TITLEKEY = リンサン

TITLEKEY = リンギョウ

TITLEKEY = 林産

TITLEKEY = 林業試験場研究報告

TITLEKEY = 林業

TITLEKEY = 研究

TITLEKEY = 報告

TITLEKEY = 試験場

TITLEKEY = BULLETIN

TITLEKEY = FORESTRY

TITLEKEY = PRODUCTS

TITLEKEY = FOREST

TITLEKEY = RESEARCH

TITLEKEY = INSTITUTE

TITLEKEY = ケンキュウ

TITLEKEY = ホウコク

TITLEKEY = シケンジョウ

AUTHKEY = リンギョウ

AUTHKEY = シケンジョウ

AUTHKEY = 試験場

AUTHKEY = 林業

AUTHKEY = (篇)

AUTHKEY = 林業試験場

PUBLKEY = 林業試験場

PUBPKEY = 荻崎町

PUBPKEY = 茨城県

SHKEY=リンギョウシケン

SHKEY=林業試験

FTITLEKEY = リンギョウシケンジョウ
ケンキュウホウコク

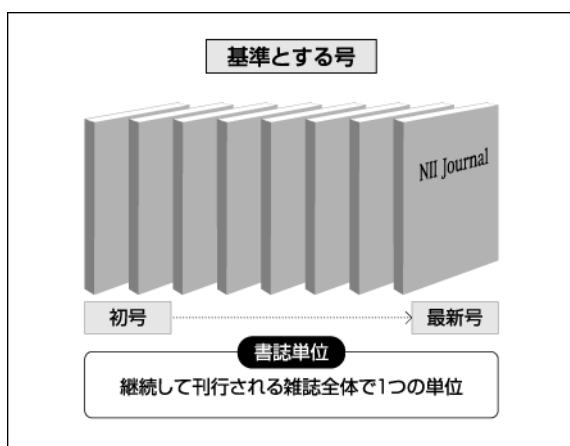
FTITLEKEY = 林業試験場研究報告

※ 下線部は検索用インデックス(表示と兼ねているものもあり)

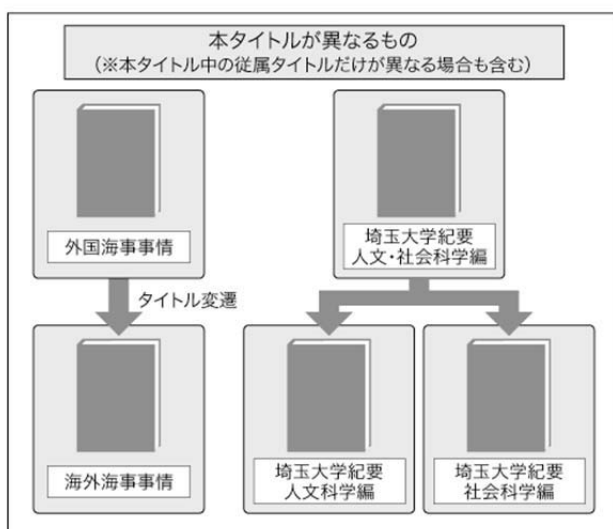
※ ○印は第1講 7.2 漢字統合インデックスを参照。

2.5 雑誌書誌レコードの作成単位

継続して刊行される雑誌の場合は、雑誌全体で一つのレコード単位とする。以下の場合は、それぞれ別個の書誌レコードを作成する。

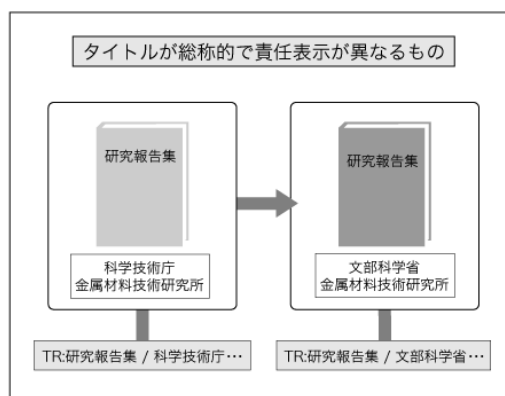
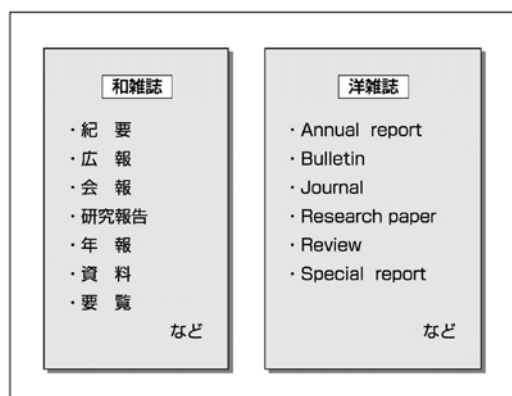


(1) 本タイトルが異なるもの（※本タイトル中の従属タイトルだけが異なる場合も含む）

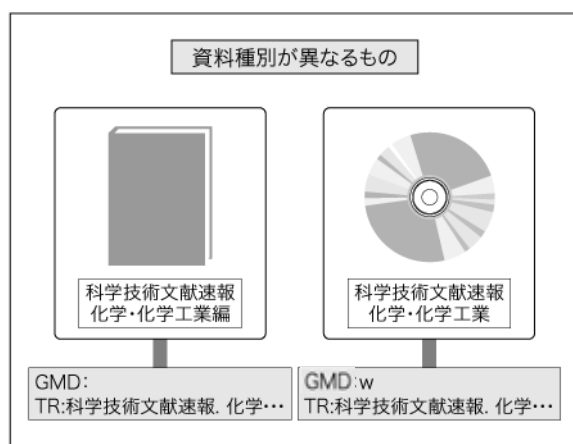


(2) タイトルが総称的で、責任表示が異なるもの

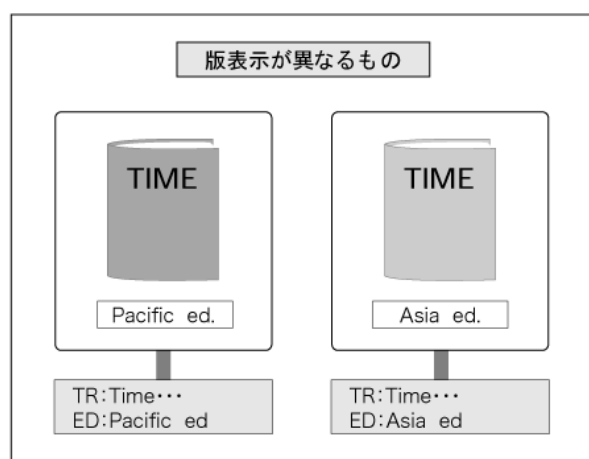
タイトルが出版物の種類、あるいは出版物の刊行頻度を表す語のみで構成されている場合、それを「総称的タイトル」という。→付録9「総称的タイトル」



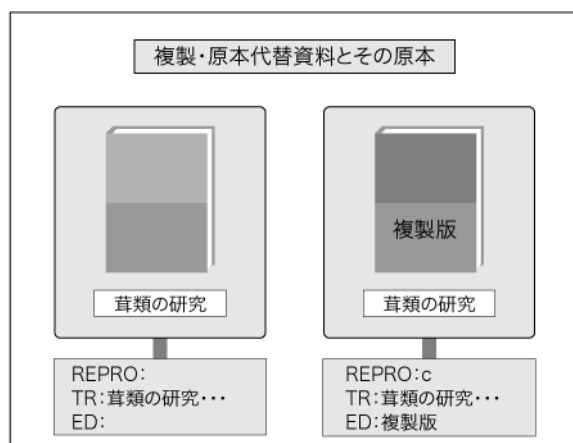
(3) 資料種別が異なるもの



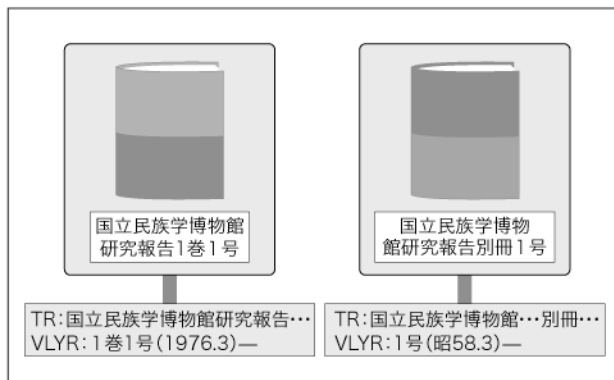
(4) 版表示が異なるもの



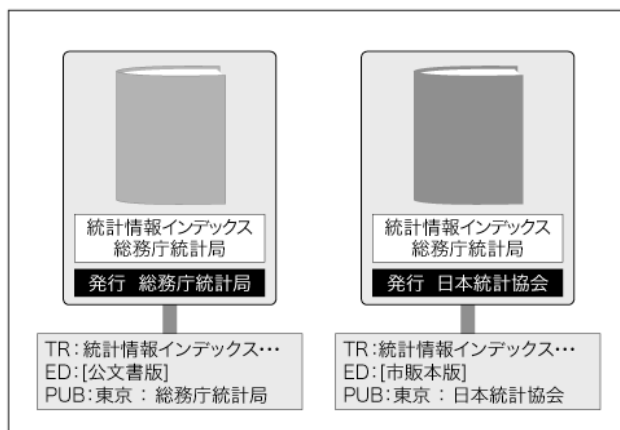
(5) 複製・原本代替資料とその原本



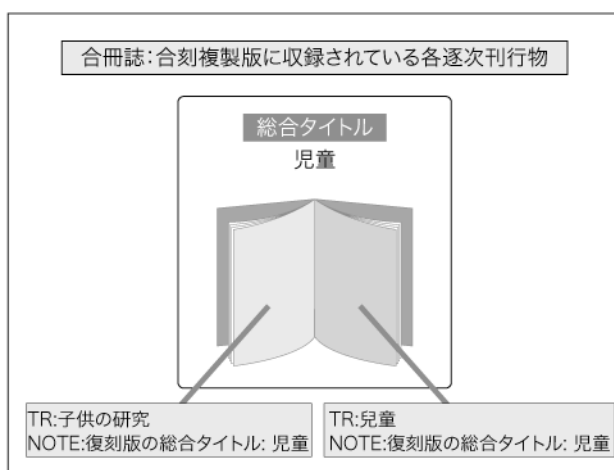
(6) 独自の巻号付けを持つ付録・補遺資料



(7) 並行して異なる出版者から出版されたもの



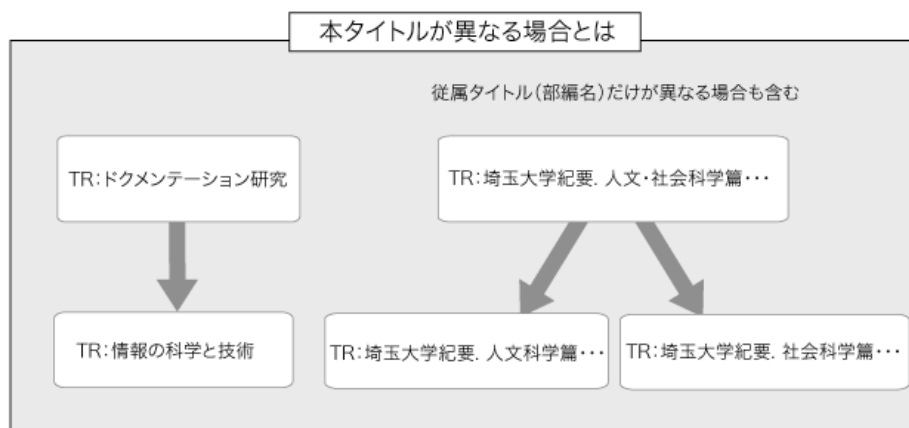
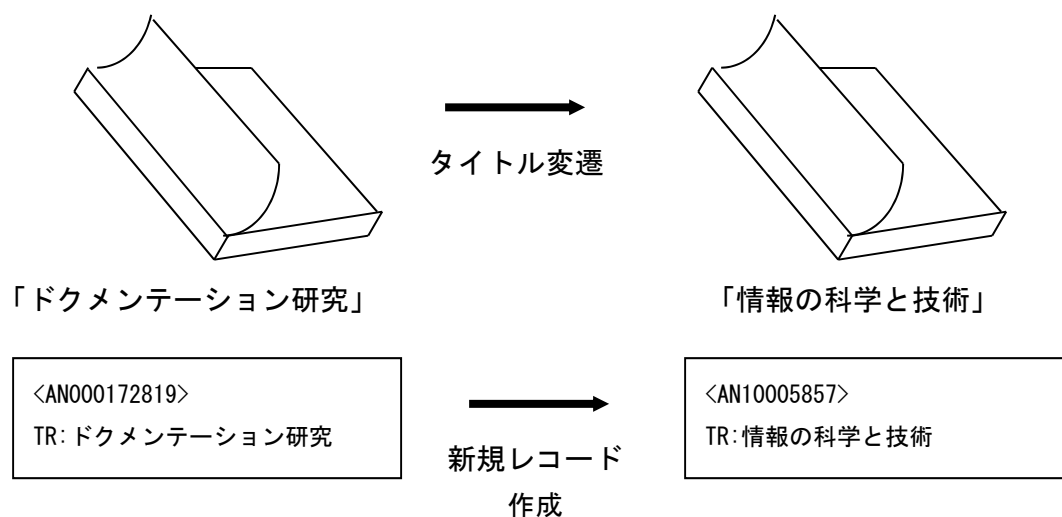
(8) 合冊誌・合刻複製版に収録されている各逐次刊行物



2.6 タイトル変遷

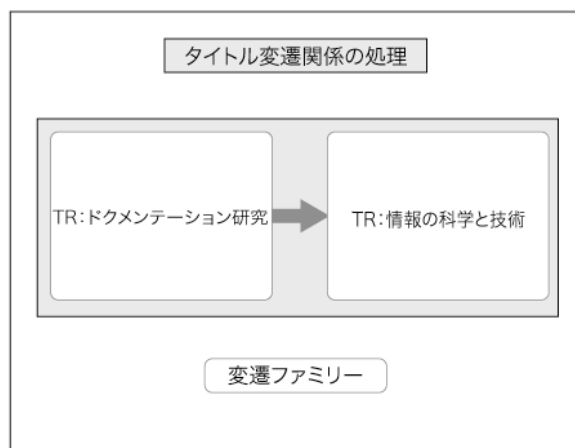
(1) 個別タイトル記入方式

- ・ある逐次刊行物の本タイトルが変更になった時点で、書誌レコードを別に作成する。
- ・本タイトルが変更になった時点で、その逐次刊行物は終期を迎え、新しい別の逐次刊行物が発生したとみなす考え。



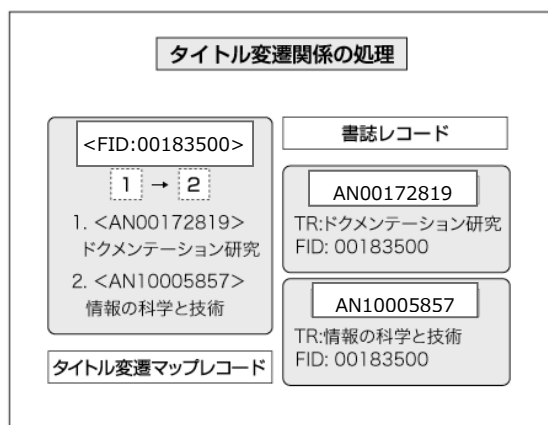
(2) 変遷ファミリー

変遷ファミリーとは、タイトル変遷関係にある一連の書誌レコードをリンクにより関連付けたものである。



タイトル変遷関係にある書誌レコードは、タイトル変遷リンク参照機能により相互参照が可能である。

- ・変遷ファミリーID (FID) は、変遷ファミリーの中のすべての書誌レコードとリンクしている。
- ・書誌レコードの BHNT フィールドには、変遷前誌・後誌の書誌レコード ID が表示される。



タイトル変遷関係の処理について

参加館で変遷関係を発見



変遷注記用データシートを作成、タイトル変遷直前・直後の号の情報源を添えて国立情報学研究所に送付

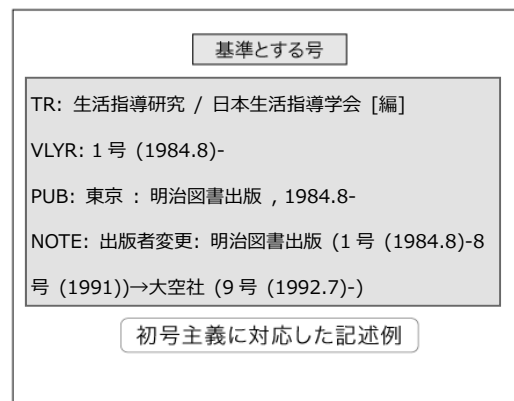
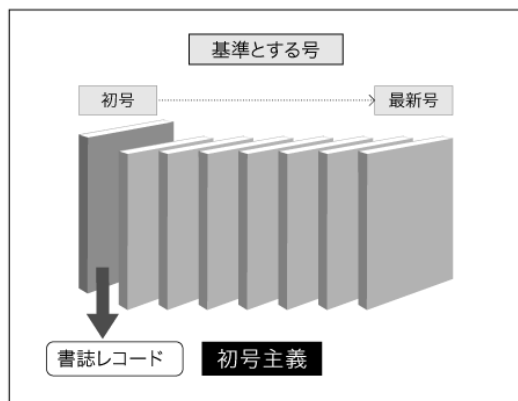


国立情報学研究所で変遷リンク作成（タイトル変遷レコード及び書誌レコード（BHNT, FID）の更新）

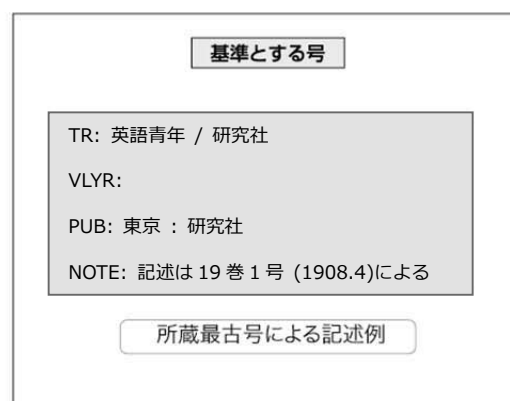
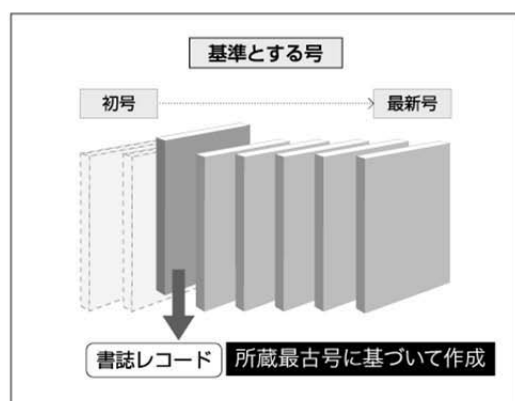
2.7 雑誌書誌レコード記述の原則（基準とする号）

初号主義：

初号に基づいて書誌レコードの記述を行う。初号以降の変更事項は、注記する。



- ・初号が入手できない場合、所蔵最古号に基づいて記述を行う。
- ・ただし、初号以外の号に基づいて書誌を記述した場合は、その号について必ず NOTE フィールドに注記する。
(例)「記述は3号(2001.12)による」→付録12「注記の記入例」－記述の根拠号
- ・情報源としての優先順位は、初号に近い号ほど高い。
- ・したがって、既存の書誌レコードが記述の根拠としている号よりも初号に近い号を入手した場合は、その号に基づいて書誌レコードの書き換えを行う。→第7講「2. 書誌修正の原則」
- ・「電子ジャーナル」の書誌レコードについては、付録14「電子ジャーナルのデータ記入」を参照。



2.8 雑誌書誌レコード作成・修正の報告

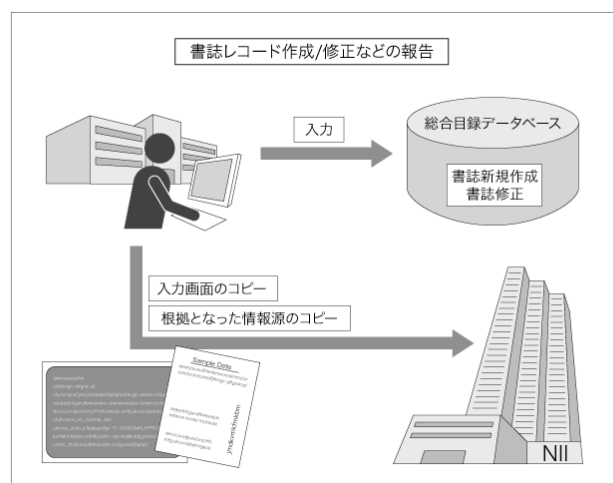
雑誌書誌レコードについては、国立情報学研究所でレコードの内容の品質管理を行っているため、書誌レコード新規作成・修正を行った場合には、報告が必要。

・書誌レコード新規作成，または修正を行った場合の提出物

(1) 入力後の画面コピー（書誌修正の場合は，修正前の画面と修正後の画面の双方）

(2) レコード作成・修正の根拠となった資料の情報源のコピー

※コード類の修正・追加等の些細な修正の場合は，報告は不要

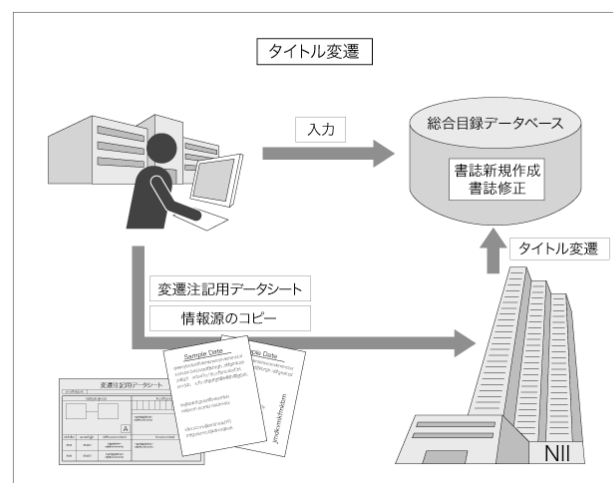


タイトル変遷リンクの作成は、国立情報学研究所が行うため、変遷関係を発見した場合にも報告が必要。

・変遷関係を発見した場合の提出物（→ 付録 15「雑誌書誌に関する報告・情報源の送付について」）

(1) 変遷注記用データシート（→ 第7講 7）

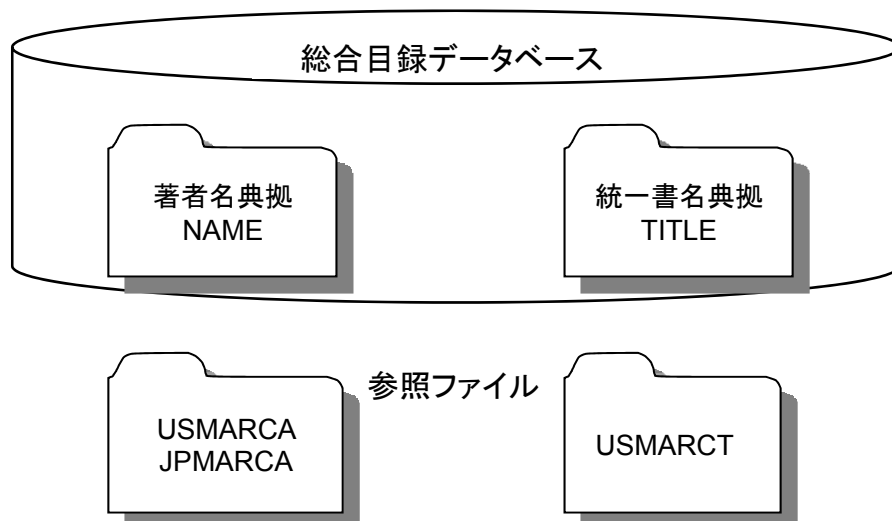
(2) 変遷直前・直後の号の情報源コピー



3. 典拠レコード

3.1 典拠ファイルの構成

典拠レコードは、総合目録データベース内に、著者名典拠レコードと統一書名典拠レコードの2種類がある。（※統一書名典拠レコードは、図書書誌レコードのみに対応している）



3.2 典拠レコードのデータ内容

(1) 準拠する目録規則

個人名の場合は、著作の原版で用いられている主な言語による。

団体名・会議名の場合は、公用語による。

（いずれも、不明な場合は、総合目録データベースにおいて初出の著作の言語）

	主な言語・公用語	目録規則
日本名, 中国名, 韓国・朝鮮名	日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語	NCR87R
外国名	上記以外の言語	AACR2R

[例] 「太宰治」→

○ HDNG:太宰, 治(1909-1948) || ダザイ, オサム

× HDNG:Dazai, Osamu, 1909-1948 (→SF へ)

「大英博物館」→

○ HDNG:British Museum

× HDNG:大英博物館 || ダイエイ ハクブツカン (→SF へ)

(2) 著者名典拠レコードのデータ内容

データの表示レイアウト、フィールド名の表記の仕方は、クライアント毎に異なる。

次に示すフィールド名は、CATP 上での定義名である。

(データ項目一覧および NACSIS-CAT での画面構成 → 付録1「画面構成とフィールド」)

フィールド名	説明	フィールド名	説明
ID	著者名典拠レコード ID	TYPE	著者の属性コード
CRTDT	レコード作成日付	PLACE	場所
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	DATE	時間
RNWDT	最終レコード更新日付	(SF)	から見よ参照形
RNWFA	最終レコード更新参加組織 ID	(SAF)	からも見よ参照形
(HDNG)	統一標目形	NOTE	注記

※()付きのフィールドは、グループフィールド

(3) 統一書名典拠レコードのデータ内容

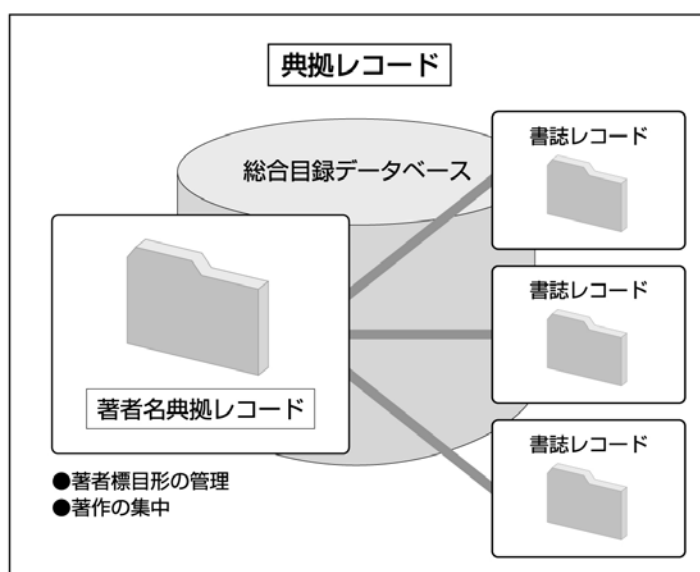
データの表示レイアウト、フィールド名の表記の仕方は、クライアント毎に異なる。

次に示すフィールド名は、CATP 上での定義名である。

フィールド名	説明	フィールド名	説明
ID	統一書名典拠レコード ID	(HDNG)	統一標目形
CRTDT	レコード作成日付	(SF)	から見よ参照形
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	(SAF)	からも見よ参照形
RNWDT	最終レコード更新日付	NOTE	注記
RNWFA	最終レコード更新参加組織 ID		

※()付きのフィールドは、グループフィールド

3.3 典拠レコードの機能



(1) 著作の集中と他著者との識別

以下によって、著作の集中を図っている。

① 典拠－書誌リンク参照機能

② 統一標目：同一著者／作品に対する標目形が常に同じ

同名異人は統一標目形で識別する。

〔例〕 鈴木， 健二(1929-)

鈴木， 健二(1929- アナウンサー)

鈴木， 健二(1922-)

同姓同名の著者は、付記事項
(生没年等)によって識別される

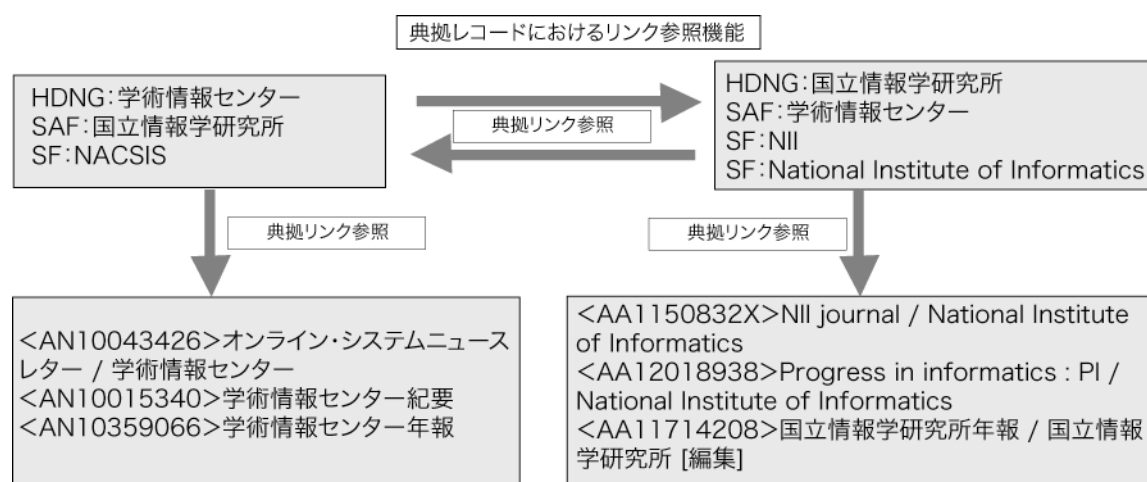
(2) 同一著者／作品の様々な名称からの検索

検索が予想される他の形や、関連する他の著者標目に関する情報を記録することで、同一著者に対する多面的な検索を可能にしている。

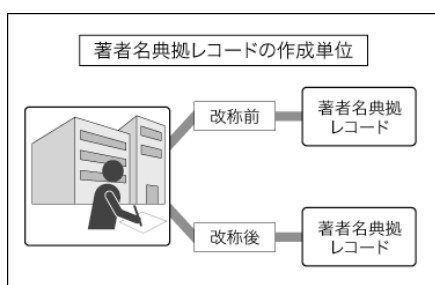
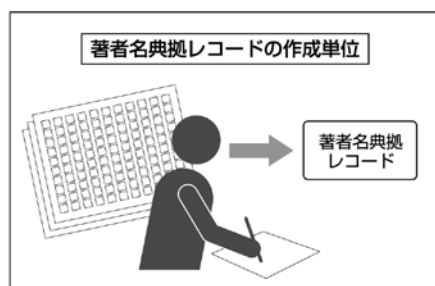
① 統一標目形の別形：「から見よ参照」 (SF フィールド)

② 典拠－典拠リンク参照機能：「からも見よ参照」 (SAF フィールド)

- ・ 目録規則で認められた複数の標目を持つ著者／作品、改組前後の団体名をそれぞれ関係づけるための、相互参照先の統一標目形



3.4 典拠レコードの作成単位



原則として、1 著者 1 典拠レコード (著者名典拠) / 1 作品 1 典拠レコード (統一書名典拠) である。
 ただし、ある個人が著作の内容などによって複数の名前を使い分けている場合や、改姓改名の前後でそれぞれ著作がある場合 (日本名)、団体の変遷等の場合は、それぞれが 1 典拠レコードとなる。
 なお、団体名の内部組織は、内部組織まで含めた形で採用する。

[例] 「文部科学省高等教育局学生課」 → ○ HDNG: 文部科学省高等教育局学生課
 × HDNG: 文部科学省

3.5 異なる目録規則による標目形の記録

NAME	
<DA0010242X> CRTDT:19860403 CRTFA:FA01177X RNWDT:20010403	
HDNG:American Library Association	外国名のため『AACR2R』に準拠
LCAID:7906241	
TYPE:c	
DATE:1876	
SF:*アメリカ図書館協会 アメリカ トショカン キョウカイ	『NCR87R』による標目形
SF:米国図書館協会 バイコク トショカン キョウカイ	
SF:ALA	

“*”を付して，SF フィールドに記録する

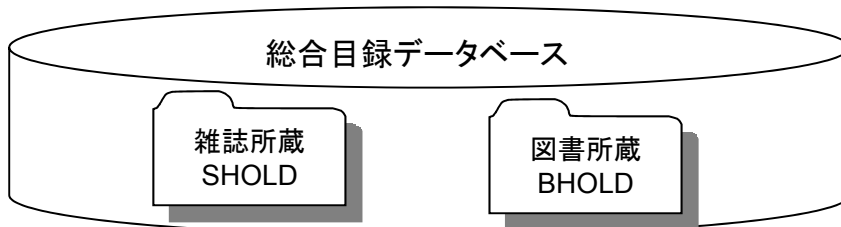
[例] HDNG: American Library Association → 公用語が英語なので，HDNG は AACR2R 形

SF: *アメリカ図書館協会||アメリカ トショカン キョウカイ

↑ NCR87R による標目形

4. 所蔵レコード

4.1 所蔵ファイルの構成



4.2 所蔵レコードのデータ項目

データの表示レイアウト，フィールド名の表記方法は，クライアント毎に異なる。

次に示すフィールド名は，CATP 上での定義名である。

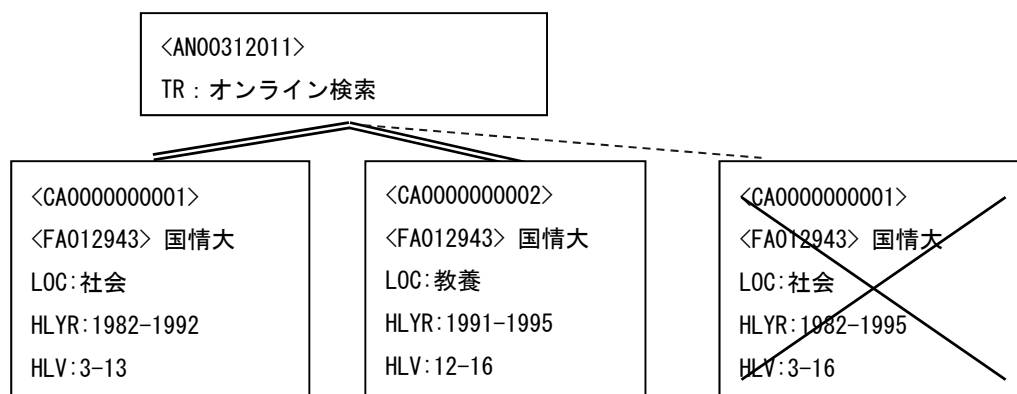
(データ項目一覧および NACSIS-CAT の画面構成 → 付録1「画面構成とフィールド」)

フィールド名	説明	フィールド名	説明	フィールド名	説明
ID	所蔵レコード ID	LOC	配置コード	雑誌のみ	
BID	書誌レコード ID	CLN	請求記号	HLYR	所蔵年次
FANO	参加組織レコード ID	CPYNT	刷の注記	HLV	所蔵巻次
LIBABL	参加組織略称	LDF	図書館定義フィールド	CONT	受入継続表示
CRTDT	レコード作成日付	LTR	ローカルトレーシング	図書のみ	
RNWDT	最終レコード更新日付 (レコード修正日付)			VOL	巻次等(巻冊次等)
				RGTN	登録番号
				CPYR	刷年

4.3 所蔵レコードの作成単位

1 書誌レコードに対して，＜参加組織＋配置コード＞毎に 1 レコードを作成する。

同じ雑誌を 1 大学のなかで別の配置コードのある 2 つの図書室等で所蔵している場合，例えば社会学科で Vol. 3 から 13 まで，教養学科で Vol. 12 から 16 までを所蔵している場合は，下のようになる。まとめて所蔵を作成することはしない。



配置コードは設定のある場合は必須である。ただし，設定されていないため空値の場合もある。

1 参加組織内に複数の配架場所等があり，それらを目録システムの中で識別する必要がある場合は，複数の配置コードを設定することができる。配置コードの追加・修正・削除には申請が必要である。